

## 生産現場で求められている最新の試験研究成果を発表

1 月 17 日に京都市内で畜産技術業績発表会が開催され、当センターからは、「受精卵移植産子の現状と課題」、「公共牧場の多面的機能に関する調査」、「ワクモの防除」、「ブロイラーのカンピロバクター感染抑制」、「高濃度アンモニアガスの低減技術」、「家畜ふん乾燥ハウスにおける冬季の乾燥能力向上」の 6 課題について、最新の調査・研究成果を発表しました。

助言者からは、「試験研究に取り組む目的が明確で、良い成果が出ている。現場への普及を考えると、実証的な研究も重要であり、期待している。」との講評がありました。今後とも、現場と密着した試験研究を行っていきます。



発 表 の 様 子